

YOSHIMOTOGUMI PROFILE

吉本組 会社案内

YOSHIMOTOGUMI

IWANAICHO

目 次

CONTENTS

■ご挨拶	P01	安全衛生パトロールの実施	P10
■経営理念	P02	交通安全活動	P10
■会社概要	P03	■ISO	P11
■所有船舶・所有重機・創業	P04	■受賞歴	P12
■沿革	P05	■工事实績	
■地域貢献		港湾・漁港	P14
災害復旧支援	P06	道路・橋梁	P18
クリーンアップ活動	P06	水産土木	P19
地元の神社祭へ参加	P07	水産・農業	P19
「北海道景観づくりサポート企業」	P07	土地造成	P20
岩内愛犬墓碑法要祭	P07	下水処理	P20
岩内馬頭観音法要祭	P08	除却工事	P20
学校グラウンドの整備	P08	トンネル	P21
岩内金刀比羅神社創立130年祭協力	P08	北海道新幹線	P21
若旺会	P09	災害復旧	P22
■安全活動		■関連企業一覧	P23
安全大会の開催	P10		



ご挨拶

MESSAGE



代表取締役社長

吉本 貴昭

弊社は、1948年創業以来、後志管内をはじめとする北海道の社会資本整備の一翼を担い、地域の発展に貢献し、技術の研鑽と誠実な対応、創意工夫の精神で皆様に支えられ今日まで歩んでまいりました。

近年、建設業が果たす使命は一段と高まっておりますが、創業時からの人を大切にする経営理念を基に、お客様に求められる品質の向上に努め、働きやすい環境づくりと心身ともに健康な人づくりを通じて、健全で持続可能な企業を目指します。

これからも吉本組は「感謝・感動・感激」の気持ちで地域に軸足を置き、常に「一步前へ」の精神で未来に向かって果敢にチャレンジする企業として、幸せな「社会」と「会社」の実現に向かって邁進する所存です。

株式会社吉本組

代表取締役会長 吉本 正則

代表取締役社長 吉本 貴昭

経営理念

MANAGEMENT PHILOSOPHY

わたしたちは社業の発展を通じて
地域社会への貢献と奉仕の精神をもって
社員一同が幸せになることを目標にそれぞれが、
一歩前を目指す集合体である。

最高の技術力を結集し、顧客の信用を得ます。

誠実さと思いやりの精神で、周囲と協調します。

創意工夫と改善を積み重ね、生産性の向上に努めます。

高い倫理観を持ち、法令その他社会的規範を遵守します。

常に“感謝・感動・感激”の気持ちを忘れずに行動します。

会社概要

ABOUT US

商 号	株式会社吉本組	社 員 数	42名
商 標		事 業 内 容	総合建設業
本 社 所 在 地	岩内郡岩内町字大浜89番地6 TEL : 0135-62-0632 FAX : 0135-62-2368	建設業許可番号	北海道知事許可(特・般-3) 後 第137号
		許可業種(特定)	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、塗装工事業、解体工事業
創 業	昭和23年4月1日	許可業種(一般)	建築工事業
設 立	昭和44年2月26日		
資 本 金	3,200万円	出 先 機 関	札幌支店 札幌市西区二十四軒3条4丁目6番7号 第3栄輪ビル2-B2号室 TEL : 011-215-7323 FAX : 011-215-7326
役 員	代表取締役会長	主要取引銀行	北海道銀行岩内支店 北海道信用金庫岩内支店
	吉本正則		
	代表取締役社長		
	吉本貴昭		
	専務執行役員		
	根本任宏		
	専務執行役員		
	谷山 剛		
	専務執行役員		
	中山章広		
	専務執行役員		
	小熊信久		
	執行役員総務部長		
	濱崎浩行		
	執行役員事業部長		
	高橋英二		
理 事	清水憲光		
	岡崎光信		
会 計 参 与	中野幸一		
	(税理士法人中野会計事務所)		



所有船舶・所有重機・創業

VESSELS OWNED, OWNED HEAVY EQUIPMENT, HISTORY

所有船舶



起重機船「吉翔号」



押船「吉翔丸」

所有重機



油圧ショベル1台



25tトラック・移動式クレーン1台



ショベル・ローダ2台



フォークリフト2台



2tトラック2台

創業

昭和23年、吉本正雄が前身である吉本組を創立し、岩内港防波堤の基礎石の納入を請け負ったのが土木工事業の始まりです。

昭和29年の岩内大火により羅災し全資産を消滅するなどの苦難も、数多くの方々のご支援で乗り切ることができ、平成8年には現在地に本社を建設しました。その時の感謝・感激・感動の気持ちにより、地域貢献、地域への恩返しをモットーとしています。

昭和35年に創業者没後、吉本吉三郎が事業を継承、昭和44年には、法人化し株式会社吉本組を設立、吉本正則が代表取締役役に就任し経営基盤の強化を図りました。その後、札幌支店の開設、昭和55年に子会社の北海道海洋土木株式会社を設立、平成15年には、ISOの品質、環境、労働安全衛生の3つの規格を同時取得し、1つのシステムとした統合マネジメントシステムを運用し、事業の拡大とともに経営の効率化・信頼の向上を目指しています。平成28年に吉本貴昭が代表取締役社長に就任。創業以来の歩みを評価いただき、農林水産大臣表彰、国土交通大臣表彰、北海道産業貢献賞等受賞、または北海道開発局長表彰、北海道知事より工事等優秀者表彰等高い技術力に対して、各種の受賞をしております。

沿革

HISTORY

昭和23年	創業者吉本正雄が現株式会社の前進である吉本組を創立、組長に就任 岩内港防波堤の基礎石納入を請け負い、土木請負業のスタートを切る	平成12年	ISO9002認証を取得
昭和27年	岩内建設業協会に入会	平成14年	ISO9001:2000年版移行認証を取得 吉本正則が北海道港湾空港建設協会副会長に就任
昭和28年	後志小樽土建協会(現小樽建設協会)に入会	平成15年	吉本正則が(一社)日本海上起重技術協会道支部副支部長に就任 統合マネジメントシステムによるISO9001:2000、ISO14001:1996、OHSAS18001:1999認証を取得
昭和29年	岩内町大火により羅災、全資産を消失 その後、この危機を乗り越え再興	平成16年	吉本正則が北海信用金庫非常勤理事に就任
昭和33年	建設業北海道知事登録	平成17年	吉本正則が(一社)全日本漁港建設協会道支部副支部長に就任 ISO14001:2004年版移行認証を取得
昭和35年	創業者没後、吉本吉三郎が事業を継承	平成20年	OHSAS18001:2007年版移行認証を取得
昭和44年	株式会社吉本組設立(資本金400万円) 吉本正則が代表取締役役に就任	平成21年	創業60周年、設立40周年式典を挙行
昭和46年	資本金を800万円に増資	平成23年	東日本大震災支援物資(ペットボトル飲料水7200本)を調達し、北海道開発局の防災フロートへ積み込み、被災地へ送る この取り組みが評価され、北海道開発局長より感謝状をいただく
昭和50年	岩内建設業協同組合に入会	平成24年	吉本正則が小樽建設協会会長に就任
昭和51年	後志建設事業協会に入会 資本金を1,300万円に増資 前本社を新築	平成28年	吉本正則が代表取締役会長に就任 吉本貴昭が代表取締役社長に就任
昭和53年	前本社を増築	平成29年	吉本貴昭が(一社)日本海上起重技術協会道支部理事に就任 吉本貴昭が(一社)寒地港湾技術研究センター常任委員に就任
昭和54年	共和町に機材センター、重機資材倉庫を建築	平成30年	吉本貴昭が北海道港湾空港建設協会理事に就任 吉本貴昭が(一社)北海道水産土木協会理事に就任 吉本貴昭が(一社)全日本漁港建設協会道支部副支部長に就任 ISO9001:2015年版移行認証を取得 ISO14001:2015年版移行認証を取得
昭和55年	北海道海洋土木株式会社設立(資本金1,000万円)	平成31年	創業70周年、設立50周年記念式典を挙行
昭和57年	吉本正則が岩内建設業協会会長に就任	令和元年	台風19号による東北被災地区への災害復興支援に5名を派遣 吉本正則が小樽建設協会顧問に就任 吉本貴昭が小樽建設協会理事に就任 吉本貴昭が岩内建設業協会会長に就任
昭和58年	北海道電力泊原子力発電所準備工事初受注 労務宿舍、独身寮、食堂等の建替を行い、福祉施設の充実を図る 若旺会発足、吉本正則が会長に就任	令和2年	吉本貴昭が北海道港湾空港建設協会副会長に就任 岩内町へ新型コロナウイルス感染防止対策用品として、マスク5万枚と除菌水100ℓを寄贈 岩宇4町村へ防止対策資金として、総額500万円を寄付 ISO45001:2018年版移行認証を取得 吉本正則が岩内建設業協同組合代表理事に就任
昭和60年	北海道土木部、水産部格付Aクラスに昇格	令和3年	吉本貴昭が(一社)日本海上起重技術協会副支部長に就任 起重機船吉翔号就航
昭和61年	札幌支店を開設	令和4年	押船吉翔丸新造
昭和62年	吉本正則が小樽建設協会副会長に就任	令和5年	札幌支店、西区に移転
平成元年	岩内新港事務所を新築 寿都営業所を新築 北海道農政部格付等級Aクラスに昇格		
平成2年	資本金を1,600万円に増資		
平成3年	北海道開発局格付等級Aクラスに昇格		
平成5年	曳船「吉翔」新造 本社新社屋用地を購入		
平成8年	新社屋新築完成 戦没画学生「祈りの絵」展を開催		
平成9年	資本金を2,600万円に増資		
平成10年	資本金を3,200万円に増資 吉本正則が岩内体育協会会長に就任 吉本正則が北海道水産土木協会理事に就任		
平成11年	札幌支店、手稲区に移転 創業50周年、設立30周年式典を挙行		

地域貢献

REGIONAL CONTRIBUTION

吉本組が一番大切にしていることは、社業の発展を通じて地域社会へ貢献することです。私たちが今日あるのは、地域の皆さんのおかげです。どうすれば地域がもっと発展するのか、どうすれば地域がもっと安全安心で快適になるのかを、社員皆で考え実行に移しています。今日まで、災害時の復旧支援、地域の美化活動、交通安全啓発、地元の例大祭への参加などを実行してまいりましたが、これからも社員一丸となりさらなる地域貢献を進めて参ります。

災害復旧支援

地域の住民を守るため、吉本組では災害時の復旧支援を積極的に行っております。東日本大震災の義援金・支援物資提供をはじめ、積丹町大雨災害の流木の処理など、全社員一丸となり、取り組んでおります。これからも地域の安全と安心のため、努力と協力を惜しみません。



クリーンアップ活動

地域を清潔で快適な環境にするため、吉本組では毎年4月から10月までの町内清掃活動を実施しております。また、平成27年4月には岩内旧フェリーふ頭周辺の草刈や清掃活動を実施。総勢30人余の大清掃ボランティアチームを結成し、約3時間の清掃活動の末、45ℓのゴミ袋50袋を回収しました。



地域貢献

REGIONAL CONTRIBUTION

■ 地元の神社祭へ参加

毎年7月に行われる岩内神社の例大祭に参加しています。この例大祭は豊漁豊作を祈念し200年以上も続く伝統ある祭。1日目の御神輿渡御行列では行列に参加している皆さんを会社でおもてなし。2日目海上渡御では我が社の船舶「吉翔」と「第10号開運号」も漁船20隻とともに参加し豊漁を祈願します。



■ 「北海道景観づくりサポート企業」

北海道が推進している「北海道景観づくりサポート企業」に登録されました。1999年から泊村の国有林の維持整備と、2001年から月1回の本社周辺での清掃活動を行っていることから環境保全に貢献していることが評価されたものです。



■ 岩内愛犬墓碑法要祭

犬は、数ある動物の中で人間と最も行動を共にし、密接に信頼し合ってきた動物ですが、命尽きた愛犬にとり決まった墓碑もなく、飼い主がその都度火葬しているのが現状でした。その中にあって、吉本正則会長が中心となり、平成2年8月7日に二基の墓碑を建立しました。一基は天然記念物北海道犬のお墓として、もう一基は愛犬のお墓として。その後、保存会として吉本組が維持管理をし、毎年8月7日に飼い主や関係者が参列し法要を営んでいます。



地域貢献

REGIONAL CONTRIBUTION

岩内馬頭観音法要祭

始まりは、水産の街岩内として共に産業を支えてきた愛馬に感謝するため、昭和53年4月に愛馬に関係していた吉本正則会長が中心となり、10名で岩内馬頭観音期成会を発会し、岩内馬頭観音記念碑を建立しました。記念碑題字は当時の北海道知事に、碑文は当時の岩内町長に依頼して建立したものです。

その後、毎年7月17日を設立記念日とし、保存会として吉本組が窓口となり、馬頭観音法要祭を開催しています。愛馬への感謝の気持ちは、今約40年たち、これからも変わらず続けられます。



学校グラウンドの整備

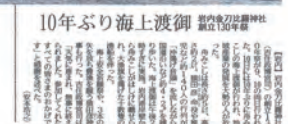
平成27年5月に、吉本組では岩内町立第一中学校のグラウンドを整備しました。

「児童生徒のスポーツ環境の推進に努めるなど、その教育貢献活動は誠に顕著」などと書かれた感謝状を岩内教育委員会から頂きました。



岩内金刀比羅神社 創立130年祭協力

平成30年6月9日・10日に行われた創立130年祭は前催の120年祭に引き続き吉本正則会長が実行委員長を務め、10年ぶりに行列を組んでの船神輿渡御、当社曳船と台船を使用しての海上渡御が行われ、当社社員も多数参加しました。



若旺会

WAKAOUKAI

若旺会概要

代 表 者	吉本正則	事 業 内 容	1. 地域社会の一員として積極的なボランティア活動
設 立 年 月 日	昭和58年1月		2. 会員相互の経済的地位の向上に関する事業
構 成 員 数	130名		3. 会員相互の親睦に関する事業
活 動 範 囲	岩内地域一円	事務局所在地	北海道岩内郡岩内町大浜89-6 (株式会社吉本組内)

主な活動

■「岩内地方の安全安心を守る協議会」パトロール

平成18年2月、岩内地方から児童・生徒等弱者に対する犯罪をなくし、地域住民が安心して生活できる地域にするため、若旺会を中心とした「岩内地方の安全安心を守る協議会」を結成、岩内警察署と協定を結びました。運動は若旺会メンバーを中心にパトロール隊を編成、児童生徒の下校時などに交代で「子どもを犯罪から守るパトロール」を実施します。そしてその活動が認められ、平成24年10月に北海道知事より「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞」と平成30年7月に北海道警察本部長より「警察協力功労者表彰」を受賞しました。



■北のみち普請を育てる会 クリーンアップ運動・河川清掃事業

きれいな岩内町を作り、維持していく一環として、海岸・河川の清掃や空缶ゼロ運動などの環境美化を推進するクリーンアップ運動を岩内クリーンアップクラブの一員として参加。年2回行っています。そしてその活動が認められ、平成30年7月に北海道開発局長より「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を受賞しました。



安全活動

SAFE ACTIVITY

安全大会の開催

毎年5月に役職員及び協力会社が参加して行われる安全大会では、安全祈願祭を始め、社長表彰、安全教育や安全講和などで、労働災害及び交通災害ゼロへの意識向上を図っています。



安全衛生パトロールの実施

吉本組安全推進委員会による安全衛生パトロールを毎月実施し、各現場を点検、改善指導を行っております。



交通安全活動

交通安全活動として、「飲酒運転根絶」及び「全席シートベルト着用100%」を宣言し、全国交通安全運動期間中には、本社前にて旗の波やパトライト運動を実施しております。又全社有車ドライブレコーダー装着にも取組み一定の成果をあげております。



当社は「安全プロジェクト」に参加しています。



株式会社吉本組は、品質（ISO9001：2015）・環境（ISO14001：2015）・労働安全衛生（ISO45001：2018）の3つの規格を1つのシステムとして統合した「統合マネジメントシステム」（Integrated Management System（IMS））を運用、審査登録しています。ISOのマネジメントシステムとは「PDCAサイクル」を回すことで「継続的改善」を図るための仕組みです。

当社では「品質の顧客満足」「労働災害の絶無」「環境保全」を三本の柱として用い、この統合マネジメントシステムをより効果的に運用、PDCAサイクルを回すことにより「常に一步前」を実践し、顧客や地域に必要とされる企業を目指していきます。

■ 登録内容の詳細

審査登録機関	ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン(株)
登録範囲	土木構造物(港湾・漁港、道路、河川、橋梁、環境整備、農業関連)の施工
対象規格	ISO9001:2015年版/ISO14001:2015年版/ISO45001:2018年版
登録番号	CN/10301
登録日	ISO9001の初回登録日 2000年06月21日 ISO14001、OHSAS18001の初回登録日 2003年11月27日
EAC番号	28(建設)
登録事業所	本社

■ 登録内容の詳細

1999.7.30	経営者によるキックオフ宣言
2000.6.21	認証取得（ISO9002:1994） （当時、小樽を除く後志管内の建設業では初の取得）
2002.2.22	ISO9001：2000版運用開始
2002.10.22	ISO9001：2000版認証取得
2003.1.7	経営者による統合マネジメントシステム構築のキックオフ宣言
2003.1.21	統合マネジメントシステム運用開始
2003.11.27	統合マネジメントシステムによる3規格同時認証取得 （ISO9001:2000、ISO14001:1996、OHSAS18001:1999） （統合による取得は当時は道内で2例目、後志管内では初の取得）
2005.6.1	ISO14001：2004年版運用開始
2006.11.24	第1回更新審査受審、認証登録更新
2008.7.1	OHSAS18001：2007年版運用開始
2010.4.16	ISO9001：2008年版運用開始
2018.8.20	ISO9001：2015年版運用開始 ISO14001：2015年版運用開始
2020.11	ISO45001：2018年版認証取得

■ 社長方針（品質・労働安全衛生・環境基本方針）

株式会社吉本組は、品質の顧客満足・労働災害の絶無・環境保全を三本の柱とした統合マネジメントシステムを有効に活用し、「常に一步前」の精神で地域に必要とされる企業を目指す。

Quality 一品質一

全役職員が力を合わせ、発注者及び地域住民が満足する製品を提供する。

1. 最高の技術力と顧客要求事項への適切な対応により顧客満足の向上を図ります。
2. 創意工夫と継続的な改善活動により、生産性の向上を図ります。
3. 地域社会への貢献と奉仕に努めます。

Health & Safety 一労働安全衛生一

全役職員が力を合わせ、発注者及び地域住民が満足する製品を提供する。

1. 協力会社との連携を強化し、安全意識の向上と作業手順の徹底により、ヒューマンエラーによる災害・事故を防止します。
2. 法令順守の徹底とリスク評価による適切な対策を図ることで労働災害の防止に努めます。
3. 作業環境向上と健康管理を常に心がけ、疾病の予防と快適で安全な職場形成に努めます。

Environment 一環境一

環境の汚染防止・負荷低減・意識向上を図り、社会基盤の整備を通じて地域社会に貢献する。

1. 作業効率の向上により、環境負荷の低減を図ります。
2. 法令順守の徹底と環境影響評価による適切な対策を図ることで環境汚染の防止に努めます。
3. 3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再利用、リサイクル:再資源化)などの取り組みを通じて、環境意識の向上を図ります。

2016.4.1

株式会社吉本組 代表取締役社長 吉本 貴昭

受賞歴

AWARDS

主な受賞歴

昭和51年 1月29日	北海道知事 堂垣内尚弘	北海道土木部優良業者感謝状	株式会社吉本組
昭和57年 7月 2日	北海道開発局長 小西郁夫	北海道優良工事施工業者表彰	株式会社吉本組
昭和60年11月14日	北海道知事 横路孝弘	北海道社会貢献賞	株式会社吉本組
平成 元年10月26日	北海道開発局長 山口 甲	北海道優良工事施工業者表彰	株式会社吉本組
平成 2年 5月31日	社団法人北海道建設業協会会長 伊藤義郎	小樽建設協会理事貢献表彰状	株式会社吉本組 吉本正則
平成 3年 8月31日	内閣総理大臣 海部俊樹	褒状 公益のため多額の私財を寄付	株式会社吉本組
平成 5年 7月22日	第8回「海の祭典」実行委員会会長 北海道知事 横路孝弘	表彰状	株式会社吉本組
平成 5年10月29日	北海道開発局長 柳川捷夫	北海道優良工事施工業者表彰	株式会社吉本組
平成 7年 5月18日	日本港湾建設協会連合会会長 藤野慎吾	表彰状	吉本正則
平成 8年 5月29日	北海道知事 堀 達也	農業農村整備事業優秀業者感謝状	株式会社吉本組
平成 8年 6月26日	内閣総理大臣 橋本龍太郎	褒状 公益のため多額の私財を寄付	株式会社吉本組
平成 8年10月25日	社会保険庁長官 佐々木典夫	表彰状	株式会社吉本組
平成11年 5月29日	内閣総理大臣 小渕恵三	褒状 公益のため多額の私財を寄付	株式会社吉本組
平成12年 8月26日	内閣総理大臣 森 喜朗	褒状 公益のため多額の私財を寄付	株式会社吉本組
平成15年 9月16日	北海道開発局 小樽開発建設部長 岡崎新太郎	小樽開発建設部長表彰	株式会社吉本組 (寿都漁港北防波堤建設工事)
平成15年10月25日	内閣総理大臣 小泉純一郎	褒状 公益のため多額の私財を寄付	株式会社吉本組
平成16年 7月 2日	北海道商工会議所連合会会頭 高向 巖	感謝状	吉本正則
平成17年11月15日	俱知安税務署長 高橋敏昭	表彰状	吉本正則
平成18年 7月20日	国土交通省 北海道開発局長 本多 満	表彰状	吉本正則
平成19年 5月16日	水産庁長官 白須敏朗	賞状	株式会社吉本組 吉本正則
平成19年 5月29日	社団法人日本港湾協会会長 栢原英郎	表彰状	吉本正則
平成20年10月 7日	北海道開発局長 鈴木英一	北海道開発局長表彰	株式会社吉本組 (石狩湾新港建設工事)
平成21年 7月30日	北海道開発局 小樽開発建設部長 小町谷信彦	小樽開発建設部長表彰	株式会社吉本組 (寿都漁港護岸外一連工事)
平成22年 5月13日	農林水産大臣 赤松広隆	賞状	株式会社吉本組 代表取締役 吉本正則

(敬称略)

受賞歴

AWARDS

主な受賞歴

平成24年12月19日	北海道知事 高橋はるみ	建設部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
平成25年 7月17日	北海道開発局長 関 博之	北海道開発局長表彰	株式会社吉本組 (寿都漁港外1港建設工事)
平成25年 7月19日	北海道開発局 網走開発建設部長 大内幸則	網走開発建設部長表彰	株式会社吉本組 (紋別港防波堤(北波除)改良工事)
平成26年 7月21日	国土交通大臣 太田昭宏	平成26年「海の日」 海事関係功労者大臣表彰	吉本正則
平成26年12月16日	北海道知事 高橋はるみ	建設部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
平成27年 2月 6日	北海道知事 高橋はるみ	北海道産業貢献賞	吉本正則
平成27年 7月24日	北海道開発局長 岡部和憲	北海道開発局長表彰	岩倉・吉本経常建設共同企業体 (石狩湾新港ケーソン製作工事)
平成28年 7月25日	北海道開発局長 今 日出人	北海道開発局長表彰	株式会社吉本組 (寿都漁港外1港物揚場改良工事)
平成28年12月 6日	北海道知事 高橋はるみ	建設部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
平成28年12月20日	北海道知事 高橋はるみ	水産林務部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
平成29年10月28日	内閣総理大臣 安倍晋三	紺綬褒章 公益のため多額の私財を寄付	株式会社吉本組
平成30年 7月30日	北海道開発局 小樽開発建設部長 橋本 幸	小樽開発建設部長表彰	株式会社吉本組 (美国漁港防波堤改良工事)
令和 元年12月 3日	北海道知事 鈴木直道	建設部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
令和 元年12月17日	北海道知事 鈴木直道	水産林務部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
令和 2年 7月30日	北海道開発局 小樽開発建設部長 坂場武彦	小樽開発建設部長表彰	株式会社吉本組 (石狩湾新港北防波堤その他工事)
令和 2年12月 1日	北海道後志総合振興局長 北谷啓幸	小樽建設管理部 工事優良企業表彰	株式会社吉本組
令和 3年 6月28日	北海道労働局長 上田国土	奨励賞	株式会社吉本組
令和 3年12月21日	北海道知事 鈴木直道	水産林務部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
令和 4年 7月28日	北海道開発局 小樽開発建設部長 遠藤達哉	小樽開発建設部長表彰	株式会社吉本組 (寿都漁港南ふ頭建設工事)
令和 4年12月20日	北海道知事 鈴木直道	水産林務部工事優秀業者表彰	株式会社吉本組
令和 5年 5月11日	水産庁長官 神谷 崇	表彰状	株式会社吉本組 代表取締役社長 吉本貴昭

(敬称略)

工事実績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

港湾・漁港

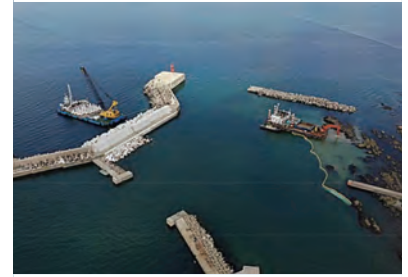
岩内港

発注者：小樽開発建設部



寿都漁港

発注者：小樽開発建設部



工事实績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

港湾・漁港

石狩湾新港

発注者：小樽開発建設部



美国漁港

発注者：小樽開発建設部



釧路港

発注者：釧路開発建設部



工事实績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

港湾・漁港

■ サロマ湖漁港

発注者：網走開発建設部



■ 元稲府漁港

発注者：網走開発建設部



■ 軽臼漁港

発注者：小樽建設管理部



工事実績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

港湾・漁港

■ 千走漁港（原歌）

発注者：小樽建設管理部



■ 大舟漁港（望路）

発注者：函館建設管理部



■ 白老海岸（竹浦）

発注者：室蘭建設管理部



工事实績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

道路・橋梁

道道泊共和線 (切土工)

発注者：小樽建設管理部



一般国道5号 (余市町黒川) 改良

発注者：小樽開発建設部



一般国道229号 (岩内町野東) 改良

発注者：小樽開発建設部



岩内洞爺線

発注者：小樽建設管理部



仁木赤井川線 (大正橋) 上部工

発注者：小樽建設管理部



道道泊共和線茅沼1号橋 (橋脚工)

発注者：小樽建設管理部



工事实績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

水産土木

■ 島牧村永豊沖合魚礁

発注者：北海道後志総合振興局



■ 神恵内村赤石増殖場

発注者：北海道後志総合振興局



■ 神恵内村二ノ目沖合魚礁

発注者：北海道後志総合振興局



水産・農業

■ ホタテ・カキ養殖(寿都湾)

発注者：寿都漁業協同組合



■ ナマコ増養殖(泊村)

発注者：古宇郡漁業協同組合



■ 農地整備(大谷地区)

発注者：北海道後志総合振興局



工事实績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

土地造成

■ いわないパークゴルフ場

発注者：岩内町



■ (仮称) 緊急事態対策拠点施設

発注者：北海道建設部



下水処理

■ 岩内・共和下水道管理センター

発注者：日本下水道事業団



除却工事

■ 旧岩内町役場庁舎

発注者：岩内町



■ 泊村特別養護老人ホーム

発注者：泊村



■ 国民宿舎もいわ荘

発注者：泊村



工事实績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

トンネル

道道泊共和線 (大山) トンネル

発注者：小樽建設管理部



道道泊共和線 (水松沢) トンネル

発注者：小樽建設管理部



道道泊共和線 (茅沼1号) トンネル

発注者：小樽建設管理部



北海道新幹線

高架橋 (鶴野)

発注者：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構



ニツ森トンネル (尾根内)

発注者：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構



工事实績

CONSTRUCTION EXPERIENCE

災害復旧

日高町沙流川

発注者：室蘭建設管理部



音更町然別川

発注者：帯広建設管理部



パンケ新得川

発注者：帯広建設管理部



神恵内村珊内地区

発注者：神恵内村



静内海岸

発注者：室蘭建設管理部



白老海岸

発注者：室蘭建設管理部



関連企業一覧

AFFILIATE COMPANY

北海道海洋土木株式会社

商号	北海道海洋土木株式会社
商標	
本社所在地	岩内郡岩内町字大浜89番地6 TEL:0135-62-2358 FAX:0135-62-2368
設立	昭和55年7月23日
資本金	1,000万円
役員	取締役会長 吉本正則 代表取締役社長 吉本貴昭
社員数	18名
事業内容	港湾土木工事・海洋土木工事・一般土木工事
建設業許可番号	北海道知事許可(般-2) 後 第568号
許可業種	土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、 しゅんせつ工事業、解体工事業
主要取引銀行	北海道信用金庫岩内支店 北海道銀行岩内支店
所有船舶	7隻(台船1隻、船外機船5隻、曳船1隻)



株式会社 北緯43度

住所	岩内町万代47番地9
電話番号	0135-62-8343
営業時間	(物販) 9:00~17:00 (食堂) 10:30~14:30
休日	毎週水曜日
駐車場	あり



レストラン吉祥

住所	岩内町栄161番地1 ホテルいのう1階
電話番号	0135-62-6012 (レストラン直通)
営業時間	11:00~14:00 / 17:00~20:30 (オーダーストップ 20:00) ※朝食は原則としてホテルのご宿泊のお客様に提供しております
休日	毎週日曜日
駐車場	あり (ホテルいのう駐車場をご利用下さい)





岩内郡岩内町字大浜89番地6

TEL : 0135-62-0632

FAX : 0135-62-2368

<http://yoshimotogumi.co.jp>



持続可能な社会への取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地球環境を守り、誰一人取り残されない社会を目指すため、株式会社吉本組ではSDG'sの取組みを始めました。
できることから着実に進めてまいります。